

HOTAMET ホタテの殻から生まれたヘルメット



守るのは、頭と地球。

HOTAMET

Features : 廃棄されていたホタテ貝殻をアップサイクルして生まれた地球環境に優しいヘルメット

ホタテの貝殻から作られたバイオプラスチックを原材料とすることで、CO2排出量を最大36%削減した、地球環境に優しいヘルメット「HOTAMET」。ホタテの水揚げ量、日本一を誇る猿払村で大量に廃棄されてきたホタテの貝殻をアップサイクルして生まれた。

甲子化学工業 南原氏のSNSでの投稿をきっかけに協業がスタート。協業から1年あまりのスピードでプロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングを開始した。甲子化学工業が育んだ設計力・試作力、社会的インパクトの創出を目指すTBWA HAKUHODOのクリエイティブの融合がプラスチック業界に大きな話題を呼んでいる。貝殻の様なフォルムも印象的。

Innovation : 「HOTAMET」。その「ものづくり」、「物語」に世界も注目。

新素材の「HOTAMET」は、防災・自転車用途の安全性の規格審査の結果を待って、販売を本格化する予定。既に大手企業や団体、個人からも多くの予約注文を受けている。

世界の名だたる広告賞を受賞し、とりわけサーキュラーエコノミーに関心の高い海外からの反響も大きく、国内外の大手メーカーからの引き合いも後を絶たない。

Future : 環境配慮の新素材を軸に、多分野への展開を目指す。

プラスチックに廃棄されたホタテの貝殻を混ぜるといふ、他社にはない甲子化学工業の独自技術(カラスチック®)を磨き、そのオリジナリティを発信しつつ、プラスチックと廃材を二軸とした、新商品、新分野での事業拡大を目指す。

OUTLINE

『プラスチックの偏見をなくしたい』。その思いから素材開発に取組み、プロダクトを通じて「物語」を世界へ発信する、共創プロジェクト。

Find VALUE ~みつける~

プラスチックが「悪者」のように見られること。その解消のために、素材、プロダクトを通じて発信したいと考えた。ホタテ貝殻の主成分が炭酸カルシウムであることに着目し、廃棄ホタテ貝殻とプラスチックから、新素材「カラスチック®」を開発。貝殻本来の役割である『外敵から身を守ること』に着眼し、人の安全を守るヘルメットを作れないか?と考えた。猿払村という地域の社会課題解決にも寄与する。

VALUE

Create VALUE ~つくる~

甲子化学工業の「ものづくり」と、TBWA HAKUHODOが得意とする、どう伝えていくかの「ものがたり」が開発までのあいだ、同時並行で進められたことが大きな成功要因。中心的に動くコアメンバー間の世代の近さも相まって、密なコミュニケーションと共感をベースにプロジェクトが進められた。

Share VALUE ~つたえる~

quantum社のプロダクト・デザイン、TBWA HAKUHODOのコミュニケーション・デザインなど、一流のクリエイティブが集結。ユーザーや商流が意識されたプロモーション戦略が社会的にも大きなインパクトを生みだしている。



(猿払村内、堆積されているホタテ貝殻)



(今後、素材を活かしたプロダクトも展開予定)

Player

甲子化学工業株式会社

原材料となる新素材カラスチックの開発、「HOTAMET」の企画、開発、製造、販売を行う。

猿払村

「HOTAMET」の原材料となる廃棄ホタテ殻を供給。

大阪大学大学院工学研究科
応用化学専攻 宇山研究室

素材開発における助言

株式会社TBWA HAKUHODO

「HOTAMET」の共創パートナー。商品開発のアイデアだし、プロモーションやコミュニケーションデザインから、ビジネス面でのサポート。

株式会社quantum

貝殻から着想を得た「生物模倣(バイオミクリー)」のプロダクトデザインを担当。